

防災無線を用いた全国一斉「Jアラート」の試験放送を行います

日時 **2月6日(金)** 午前 **11時** ころ

内容 防災行政無線の試験放送

防災行政無線（屋外スピーカーおよびすべての戸別受信機）から、「これは、Jアラートのテストです」と、最大音量で3回繰り返し放送されますのでご注意ください。気象・地震活動の状況等によっては、試験放送を中止することがあります。



この試験は、全国瞬時警報システム（Jアラート^{*}）を用いた試験で、全国でさまざまな手段を用いて情報伝達試験が行われます。

※Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から市区町村へ、人工衛星などを通じて瞬時にお伝えするシステムです。

問い合わせ

総務課 消防防災班 ☎ 0820-74-1000

大島大橋架橋 50 周年を迎えて



1976 年（昭和 51 年）7 月 4 日に日本道路公団により大島大橋有料道路として開通、片道が普通車 620 円・軽自動車 410 円の一般有料道路でしたが、1996 年（平成 8 年）6 月 1 日の償還期間満了により、現在では無料にて通行できるようになりました。（町民割引の通行料で渡っていた頃が懐かしいです）

また、通行無料化に合わせるように大島大橋交差点の利便性が向上、信号に関係なく常時左折ができるようになりました。

2018 年（平成 30 年）10 月 22 日には、貨物船が大島大橋の橋梁に衝突し橋が損傷、水道管が切断されるなど、島のライフラインが寸断される事故が発生しました。

断水や車両通行規制が 1 カ月を超える期間となりましたが、その間多くの方々からのご支援と励ましにより乗り越えて、12 月 1 日にはすべての地区で水道が全面復旧しました。

近年ではビールや電子機器、電力会社などのテレビCMの舞台として大島大橋が選ばれるなど脚光を浴びています。

このような変遷をたどり、2026 年（令和 8 年）7 月 4 日に大島大橋は架橋 50 周年を迎えます。

これからも大島大橋は私たちにとっての最重要なライフラインではありますが、観光においても大島大橋が一番の観光スポットなのかもしれません。

日本三大潮流といわれる大島瀬戸を眼下に望み、JR 山陽本線の線路を俯瞰できることから、大島

大橋の歩道は鉄道ファンに人気の撮影ポイントです。さらに周防大島町側へ橋を渡ると圧倒的な存在感のあるSUO-O SHIMAサインが交差点で出迎えてくれます。

飯の山の頂上にある展望台からは、大島大橋を点景としたパノラマが広がり、山腹にある大多満根神社の鳥居から明神鼻まで遊歩道も整備され、大島大橋はもちろん、その周辺もウォーキングコースとして大いに魅力があります。

架橋 50 周年を機に、いつもは車で通り過ぎるだけの大島大橋を、たまには歩いて渡ってみませんか？大島瀬戸に吹く潮風を体に受け、潮流の響きに耳を傾けながら歩く 1,020m の道程。のんびりとした時間の中に意外な発見があるかもしれません。



問い合わせ 周防大島観光協会 ☎ 0820-72-2134